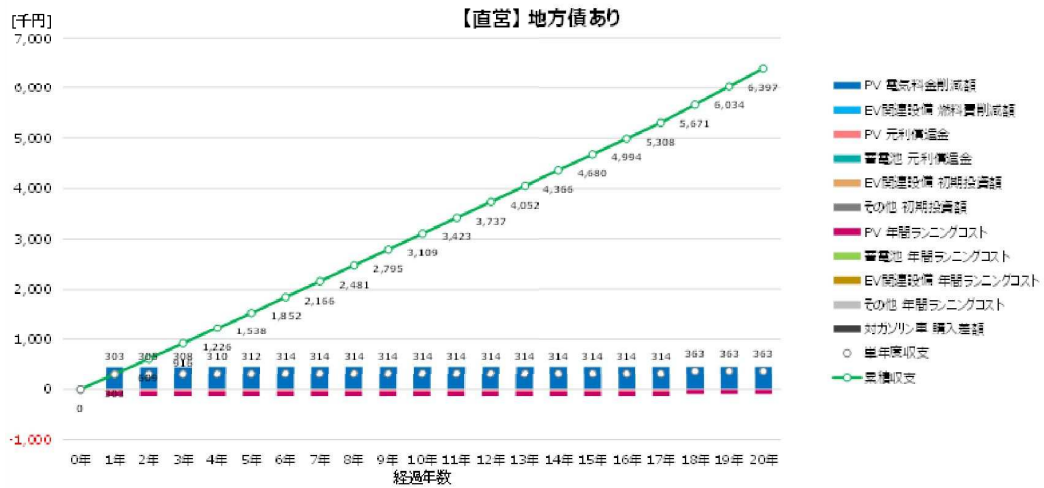
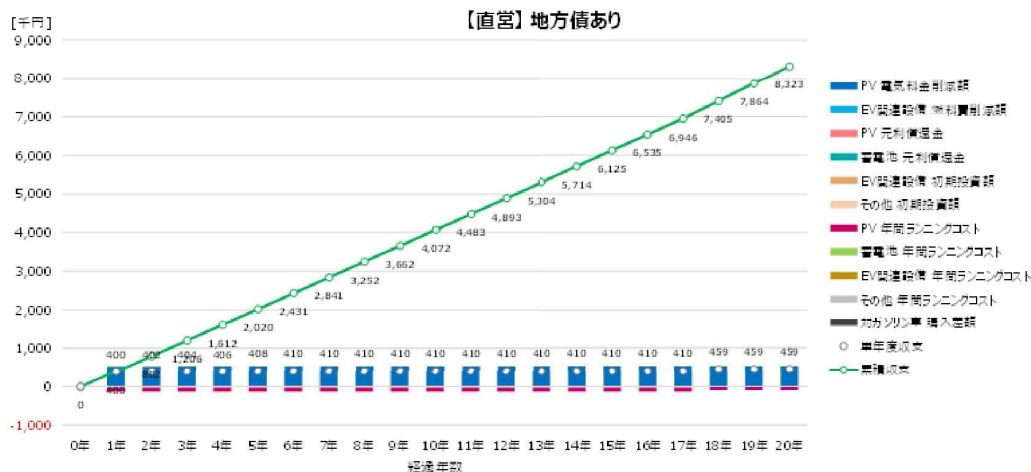


## 【別添】施設別収支計算結果 ※①直営（過疎債あり）ケースのみ

## 事業収支：始良公民館



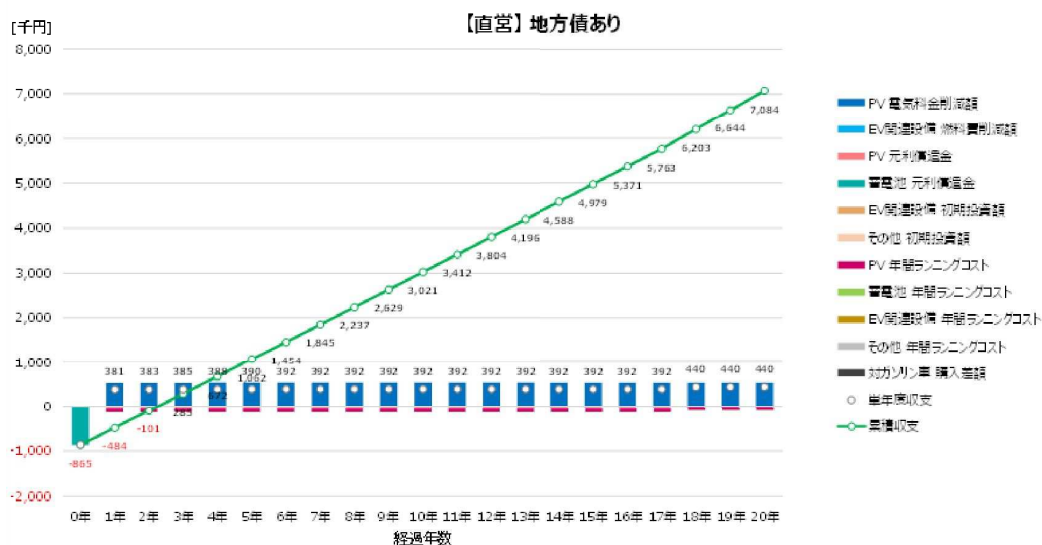
## 事業収支：始良市中央図書館



CTI Engineering Co., Ltd.

26

## 事業収支：始良小学校

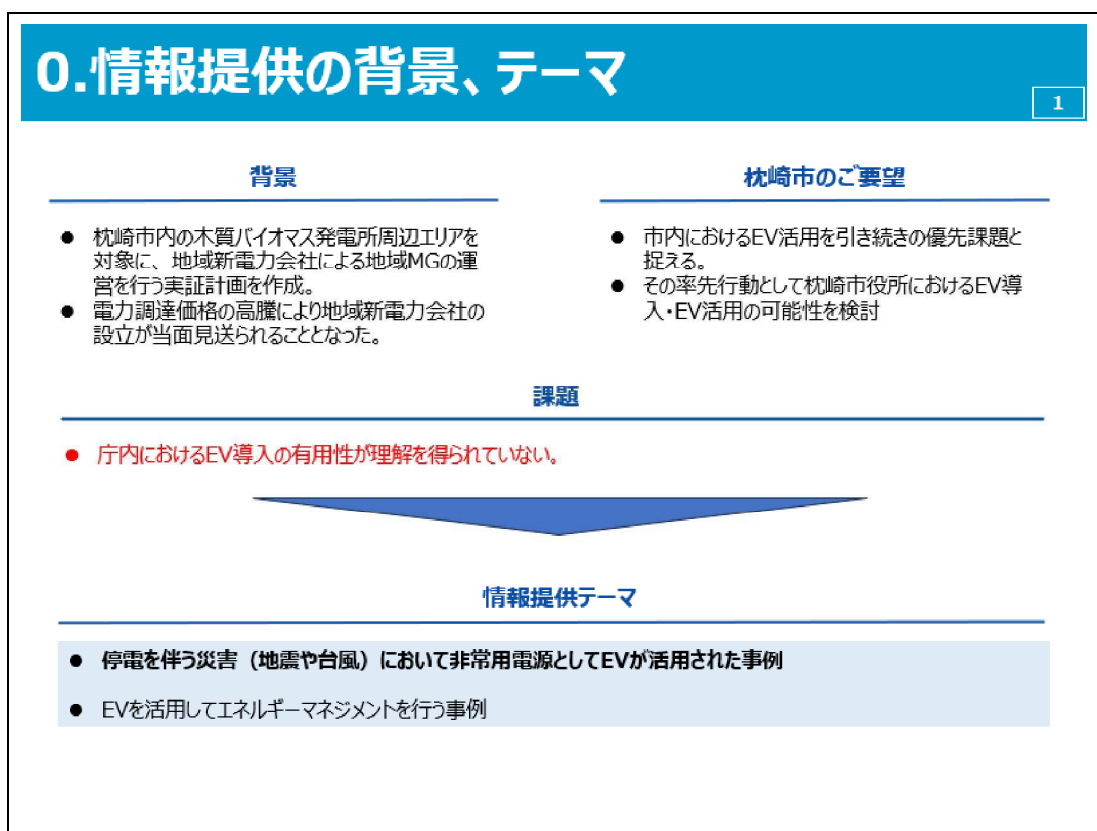


CTI Engineering Co., Ltd.

27

## (2) 枕崎市

- 枕崎市においては、市内の木質バイオマス発電所周辺エリアを対象に、地域新電力会社による地域 MG の運営を行う実証計画を作成していたが、電力調達価格の高騰により地域新電力会社の設立が当面見送られることとなった。
- 一方、市内における EV の活用は引き続き優先課題ととらえ、その率先行動として枕崎市役所における EV 導入・EV 活用を検討中である。
- 庁内における EV 導入の有用性について理解が得られていないため、EV を活用してレジリエンス強化が図られた事例を情報提供した。
- 過去に停電を伴う災害において EV や FCV, PHEV が活用され、避難所に必要な電力需要をまかなうことができている。
- 枕崎市を対象に検討した実証計画のサポートについては今年度で区切りをつける。



# 1. 千葉県大規模停電におけるEV活用事例

2

(停電を伴った災害)  
令和元年台風15号 (令和元年9月8日から9日ごろ)

(災害の概要)  
送電線の鉄塔や電柱の倒壊、倒木や飛散物による配電設備の故障等により、千葉県を中心に、**最大約93万4,900戸の大規模停電**となった(約2日間)。この長期間にわたる停電の影響により、**携帯電話網や市町村防災行政無線等が使用できず、住民への情報伝達が困難となる通信障害が発生した**ほか、多くの市町村で断水等ライフラインへの被害や鉄道の運休等の交通障害が発生するなど、住民生活に大きな支障が生じた。



<強風により屋根瓦が飛散した千葉県館山市の状況>

<被害状況(人的・建物被害)>

都道府県名	人的被害			住家被害					非住家被害	
	死者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	公共建物 棟	その他 棟
		重傷 人	軽傷 人							
福島県				1				5	6	
茨城県		1	24	4	84	4,705			1	584
栃木県			1			3				
埼玉県		1	9			15	1			
千葉県		8	74	314	3,652	61,104	40	66		600
東京都	1		6	12	68	1,425	13	11		226
神奈川県		3	10	11	76	2,665	68	32		48
静岡県			13		47	480		2		1
合計	1	13	137	342	3,927	70,397	127	118		1,459

出典) 総務省消防庁ホームページ  
(<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r1/topics/1/48021.html>)

# 1. 千葉県大規模停電におけるEV活用事例

3

## 事例1 台風15号による大規模停電地域にHondaの電動車両が出勤し、外部給電器を介した電力供給で被災地を支援

### 概要

- Hondaは「電動車両と外部給電器」による支援を自治体やNPO団体などへ申し出
- 緊急性の高い高齢者施設など県内5カ所で、FCV「クラリティ FUEL CELL」やEV「フィットEV」から外部給電器「Power Exporter 9000」を介して、施設のエアコン、照明、扇風機、冷蔵庫などへ電力を供給



特別養護老人ホームにおける使用事例(千葉市)

### EV活用方法

- 千葉市の特別養護老人ホームの使用例：エアコン、扇風機、冷蔵庫、携帯電話充電、フードプロセッサに活用
- 避難所のお風呂脇でのドライバー5台同時接続
- 市原市の高齢者施設の使用例：エアコン2台に使用し脱水症状を改善



高齢者施設における使用事例(市原市)

出典) 本田技研工業ホームページ (<https://global.honda.jp/smartcommunity/activity/report/movie024.html>)  
(一社) 次世代自動車振興センターホームページ ([https://www.cev-pc.or.jp/xev\\_kyougikai/xev\\_pdf/xev\\_kyougikai\\_wg01-1\\_honda.pdf](https://www.cev-pc.or.jp/xev_kyougikai/xev_pdf/xev_kyougikai_wg01-1_honda.pdf))

# 1.千葉県大規模停電におけるEV活用事例

4

## 事例2 台風15号による大規模停電先へのプラグインハイブリッド車（PHEV）の派遣（三菱自動車）

### 概要

- 9月9日から同月末までに、停電した介護施設など5地点にプラグインハイブリッド車（PHEV）「アウトランダーPHEV」を派遣。東京電力に貸し出した車両を含め、計12台を提供した。
- 三菱自動車は、台風が通過した9月11日、千葉県にアウトランダーPHEVを移動させて待機。自治体から要請を受けた12日から本格的に介護施設で給電を実施。



特別養護老人ホームでの使用事例

出典) 電気新聞ホームページ (<https://www.denkishimbun.com/sp/48629>)  
 三菱自動車ホームページ (<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/phev/dcsp/>)  
 レスポンスホームページ (<https://response.jp/article/img/2019/12/15/329819/1485656.html>)

### EV活用方法

- 主に冷蔵庫や照明、スマートフォンへ給電を実施。
- 入居者が200人を超える介護施設もあり、電源車が到着するまで洗濯機や乾燥機などにも給電



DENDOコミュニティサポートプログラム  
 (三菱自動車と自治体による災害時協力協定)

# 1.千葉県大規模停電におけるEV活用事例

5

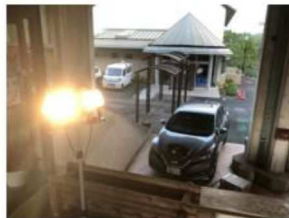
## 事例3 台風15号による大規模停電地域におけるEV及び可搬型給電器の提供（日産自動車）

### 概要

- 9月11日より、停電被害が大きいと報道された地域（市原・君津・木更津・香取・富津）のべ30か所に電気自動車「日産リーフ」14台と可搬型給電器を配備し、電力供給を実施
- 9月14日からは東京電力と連携し、首都圏の販売会社のサポートのもと「日産リーフ」39台を可搬型給電器とセットで提供
- 電気自動車（EV）日産リーフの場合は別途可搬型給電器と組み合わせることで最大4,500Wの使用が可能のため、エアコンや電子レンジ、電気ポット等出力の大きいものを動かすことが可能



公民館での使用事例（スマホ・携帯電話充電用）



公民館での使用事例（照明用）



保育園での使用事例（扇風機用）

出典) 日産自動車ホームページ (<https://ev2.nissan.co.jp/BLOG/186/>)



# 1. 千葉県大規模停電におけるEV活用事例

6

## 事例4 台風15号による停電時の住宅での給電（日産自動車）

### 概要

- 9月9日午前6時から同月11日15時までの停電期間に日産リーフ（24kWh）により一世帯の電気をまかされた。
- 24kWhリーフの電池残量が20～30%まで使用したタイミングで停電から復旧している地区の日産店舗にて充電。（9日午後、10日午前・夕方、11日午前の計4回）



停電時に給電中の24kWh日産リーフ

### EV活用方法

- 日産リーフから給電中は冷蔵庫、照明、エアコン、井戸用のポンプの他、携帯電話の充電やパソコン、テレビ、洗濯機を使用することができた。



停電時に日産リーフから給電中のリビングの様子

出典）日産自動車ホームページ（<https://ev2.nissan.co.jp/BLOG/625/>）

# 2. 北海道胆振東部地震におけるEV・FCV活用事例

7

（停電を伴った災害）  
平成30年北海道胆振東部地震（平成30年9月6日）

（災害の概要）  
震源地周辺で広範囲に大規模な斜面崩壊が発生したほか、震度6弱を観測した札幌市などで液状化現象が発生し、住宅や道路に被害が出た。  
厚真町の苫東厚真火力発電所（道内発電力の約4割を占める主力発電所）の発電設備は全3基中2基（2号機、4号機）が地震直後に自動的に緊急停止し、残りの1基（1号機）についてはボイラー管の損傷により徐々に出力が低下し、最終的に停止に至った。  
同発電所の停止や3ルート四回線の送電線事故に伴う水力発電所の停止等により電力供給（送電量）を需要（使用量）が大きく上回り、周波数を調整するための電源の不足等の結果、**日本で初めてとなるエリア全域に及ぶ大規模停電（ブラックアウト）が発生した。道内全域において最大約295万戸が停電、ブラックアウトから概ね全域に供給できるまで45時間程度**を要した。

○ライフライン被害

	最大戸数	復旧状況
電力	約295万戸	9月11日復旧（土砂崩れなどにより立ち入り困難な地域を除く）
水道	68,249戸	10月9日復旧

○商工業被害

区分	被害推計額（百万円）			被害の概要
	地震関係	停電関係	計	
商業	1,068	10,849	11,917	（地震） 建築物、機械類、給水・設備、什器、商品、原材料、備品等の被害
工業	664	1,576	2,240	
その他	10,263	1,131	11,394	（停電） 商品や原材料等の廃棄、設備等の破損など
合計	11,995	13,556	25,551	

出典）総務省消防庁ホームページ  
（<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r1/topics1/48021.html>）  
北海道庁ホームページ  
（[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/3/3/2/7/7/1/\\_/06siryou3.pdf](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/3/3/2/7/7/1/_/06siryou3.pdf)）

## 2.北海道胆振東部地震におけるEV・FCV活用事例

8

### 事例1

胆振東部地震時に公用車の燃料電池自動車（FCV）を携帯電話充電サービスの電源として提供（札幌市）

#### 概要

- 札幌市役所本庁舎内で実施した携帯電話充電サービスの電源として公用車の燃料電池自動車（FCV）を活用した。
- ※ 札幌市は平成30年3月に公用車としてFCV2台を導入

#### EV活用方法

- 平成30年9月6日（木）10時～21時及び9月7日（金）の7時45分～14時に実施し、約2,000人（6日：約900人、7日：約1,100人）が携帯電話充電サービスを利用（人数には本庁舎の非常用発電機からの給電分を含む）



札幌市役所での使用事例

出典) 札幌市ホームページ ([https://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya\\_kankyo/h2\\_fc\\_v\\_info.html](https://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya_kankyo/h2_fc_v_info.html))

## 2.北海道胆振東部地震におけるEV・FCV活用事例

9

### 事例2

胆振東部地震時に公用車の燃料電池自動車（FCV）を照明、テレビ、携帯電話充電サービスの電源として提供（室蘭市）

#### 概要

- 自主避難所に整備した定置型給電器（V2H）を通して、照明、テレビなどのほか携帯電話充電サービスの電源として、公用車FCVから給電した。
- ※ 室蘭市は平成28年3月に公用車としてFCV2台を導入



↑自主避難所での使用事例

出典) 国土交通省北海道開発局ホームページ

(<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001eosf-att/splaat000001eozi.pdf>)  
北海道庁ホームページ (<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/suiso.html>)

#### EV活用方法

- 9月6日（木）5:50～9月7日（金）1:45まで、自主避難所であるサンライフ室蘭において実施。

表 北海道水素地域づくりプラットフォーム会員のFCV・水素ステーション導入状況

回体	FCV導入状況
北海道	FCV1台
札幌市	FCV2台
室蘭市	FCV2台
鹿追町	FCV1台、FCフォークリフト1台
エア・ウォーター株式会社	FCV1台
伊藤組土建株式会社	FCV1台
(一財)北海道道路管理技術センター	FCV1台

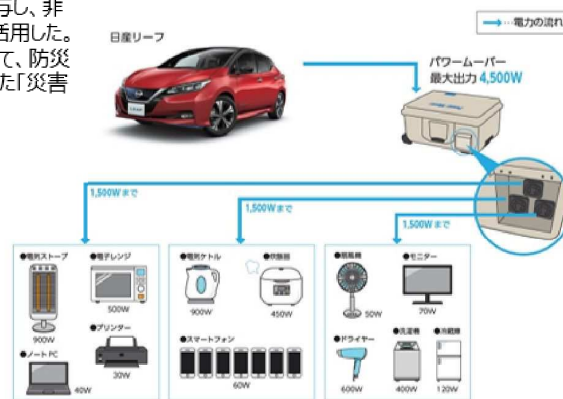
## 2.北海道胆振東部地震におけるEV・FCV活用事例

10

### 事例3 胆振東部地震時における厚真町、安平町、むかわ町へのEV及び可搬型給電器の提供 (日産自動車)

#### 概要

- 地震発生後の2日後、ガソリンの供給が不足している厚真町、安平町、むかわ町へ「日産リーフ」を貸与し、非常用電源やガソリン車に代わる移動車として活用した。
- 北海道胆振東部地震での支援をきっかけとして、防災対策・環境対策として、電気自動車を活用した「災害連携協定」を締結



災害発生時の「日産リーフ」からの電力供給イメージ図 (出典：日産自動車)

出典) 日産自動車ホームページ (<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/200925-01-j>)

## 3.令和6年能登半島地震におけるEV・PHEV活用事例

11

(停電を伴った災害)  
令和6年能登半島地震(令和6年1月1日)

(災害の概要)  
震源地周辺で広範囲に大規模な斜面崩壊が発生したほか、石川県内で住宅の倒壊被害が多く発生した。**北陸電力管内で最大約4万戸が停電した。**停電は送電線や変電所によるものではなく、配電設備の損傷によるもの。  
のと鉄道七尾線は全区間(七尾～穴水駅間)で運転取りやめが発生中。

都道府県	人的被害					住家被害						
	死者	行方不明者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計
			重傷	軽傷	小計							
人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
新潟県			5	44	49	49	95	2,496		14	15,322	17,927
富山県			3	44	47	47	156	461			8,873	9,490
石川県	241		312	873	1,185	1,426	8,540	8,935	6	5	24,781	42,267
福井県				6	6	6		11			314	325
長野県											12	12
岐阜県				1	1	1						
愛知県				1	1	1						
大阪府				5	5	5						
兵庫県				2	2	2						
合計	241		320	976	1,296	1,537	8,791	11,903	6	19	49,302	70,021

出典) 内閣府ホームページ (<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r1/topics1/48021.html>)



### 3. 令和6年能登半島地震におけるEV・PHEV活用事例

12

#### 事例1 能登半島地震においてEV、PHEVを貸与（日産自動車、三菱自動車）

##### 概要

- 日産自動車は、1月3日に石川県穴水町からの要請で電気自動車「アリア」2台を貸し出したほか、5日には珠洲市に3台のEVを貸与した。
- 三菱自動車は、新潟県柏崎市に「アウトランダー」と「エクリプスクロス」のPHEVを貸与した。



貸与された日産の電気自動車「アリア」

##### EV活用方法

- 穴水町の避難所では、周辺住民らがスマートフォンや自動体外式除細動器（AED）の充電に使用



スマートフォンやAEDを充電する様子

出典) 日経ビジネスホームページ (<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00109/012500264/>)  
ヤフーニュース (<https://news.yahoo.co.jp/articles/322a61ee45e6e5abaf3f319d1800367ff0e449c7>)

### 3. 令和6年能登半島地震におけるEV・PHEV活用事例

13

#### 事例2 能登半島地震において復興支援のためEV3台を提供（石川ヤナセ・藤沢自動車）

##### 概要

- 石川ヤナセと藤沢自動車は、販売店で取り扱う電気自動車（EV）3台を、令和6年能登半島地震の復興支援のため中能登町に提供。
- 提供車両は、「メルセデス・ベンツEQA」「ボルボXC40リチャージ」「アプジョーE-2008」となっている。



提供された車両

##### EV活用方法

- 提供された車両は、中能登町役場を拠点にボランティアの移動用などに使用。

出典) 日刊自動車新聞ホームページ (<https://www.netdenjd.com/articles/-/296980>)

## 4. EV導入によるレジリエンス強化に役立った事例まとめ

14

### ■：公用車を活用した事例

災害	活用車種	事例概要	EV活用方法
1.千葉県大規模停電	EV、FCV	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急性の高い高齢者施設など県内5カ所でHondaが提供したFCV「クオリティ FUEL CELL」やEV「フィットEV」から外部給電器「Power Exporter 9000」を介して電力を供給</li> <li>被災地30か所に日産自動車提供したEV「リーフ」14台と可搬型給電器を配備し、電力供給</li> <li>自宅所有EV「リーフ（24kWh）」1台により一世帯の電力需要をまかなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアコン、扇風機、冷蔵庫、携帯電話充電等に活用</li> <li>扇風機、携帯充電、夜間には灯光器に利用（別途可搬型給電器と組み合わせることで最大4,500Wの使用が可能）</li> <li>一日二回程度充電をしながら、日堂と同様の給電を行った。</li> </ul>
	PHEV	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護施設など5地点で三菱自動車提供した「アウトランダーPHEV」計12台で電力を供給。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に冷蔵庫や照明、スマートフォンへ給電</li> <li>入居者が200人を超える介護施設もあり、洗濯機や乾燥機などに給電</li> </ul>
2.北海道胆振東部地震	FCV	<ul style="list-style-type: none"> <li>公用車FCV2台を札幌市役所本庁舎内で実施した携帯電話充電サービスに活用</li> <li>室蘭市では定置型給電器（V2H）を通して公用車FCVを活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2日間で約2,000人が携帯電話充電サービスを利用</li> <li>照明、テレビなどのほか携帯電話充電サービスの電源として活用</li> </ul>
	EV	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンの供給が不足している厚真町、安平町、むかわ町で移動車として日産自動車提供した「リーフ」を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリン車に代わる移動車として活用</li> </ul>
3.令和6年能登半島地震	EV、PHEV	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所における電源に日産自動車提供したEV「アリア」や三菱自動車提供したPHEV「アウトランダー」「エクリプスクロス」を活用</li> <li>地元自動車販売店が提供したEV「メルセデス・ベンツEQA」「ボルボXC40リチャージ」「プジョーE-2008」の3台を復興支援に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンや自動体外式除細動器（AED）の充電に使用</li> <li>ボランティアの移動用に使用</li> </ul>

## 5. 福島県浪江町におけるEVを活用したエネマネ

15

### 事例1 商業施設「道の駅なみえ」におけるEV充放電での自律制御（日産自動車）

#### 概要

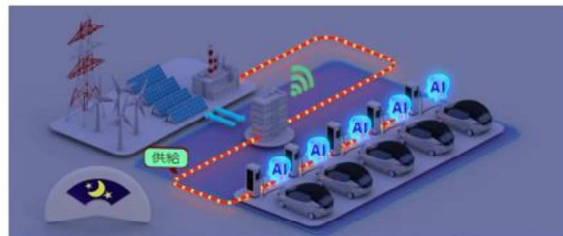
- 日産自動車は浪江町の商業施設「道の駅なみえ」の再エネ発電設備である太陽光発電（出力37.5kW）、風力発電（出力1kW×3基）、水素燃料電池（出力3.5kW）、パワーコントロールシステム、浪江町の公用車であるEV「日産リーフ」15台を活用し、充放電制御システムを効率的なエネルギー運用を検証。



道の駅なみえに置かれた日産リーフ

#### 効果

- 充放電制御システムによりEVの充放電を自律的に行う。EVのバッテリー残量や使用パターン（走行距離、出発時刻など）などを考慮し、道の駅の電力使用状況に応じて充放電を行う優先車両を決め、必要なタイミングで充放電が行われる。充電に用いる電力の再生可能エネルギー100%を目指す。
- 「道の駅なみえ」の燃料電池は、浪江町にある「福島水素エネルギー研究フィールド」から運搬された水素で稼働している。メガソーラーを併設し、その電力を使って、水を電気分解して水素を取り出した。



充放電のイメージ

出典）新・公民連携最前線ホームページ（<https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/news/011902281/>）

## 5.福島県浪江町におけるEVを活用したエネマネ

16

参考

電気自動車（EV）などのモビリティサービス：実証実験『なみえスマートモビリティ』（日産自動車）

### 概要

- 日産自動車は「新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」という協定を通じ、モビリティとエネルギーの技術的イノベーションでの貢献を目指している。
- 浪江町中心部には、7カ所の固定のデジタル停留所に加え、スマートフォンのアプリケーション上に120カ所のバーチャル停留所を設定し、日常の手軽な移動をサポート。周辺部はユーザー登録に応じてアプリケーション上に停留所を設置。



提供された車両



アプリケーション操作画面

### 効果

- 持続可能な町内公共交通として簡単に日常の足として使用可能
- 荷物の宅配サービスとしての利用も可能であり、**移動サービスの利便性向上**、および地方部における暮らしやすいまちづくりに貢献

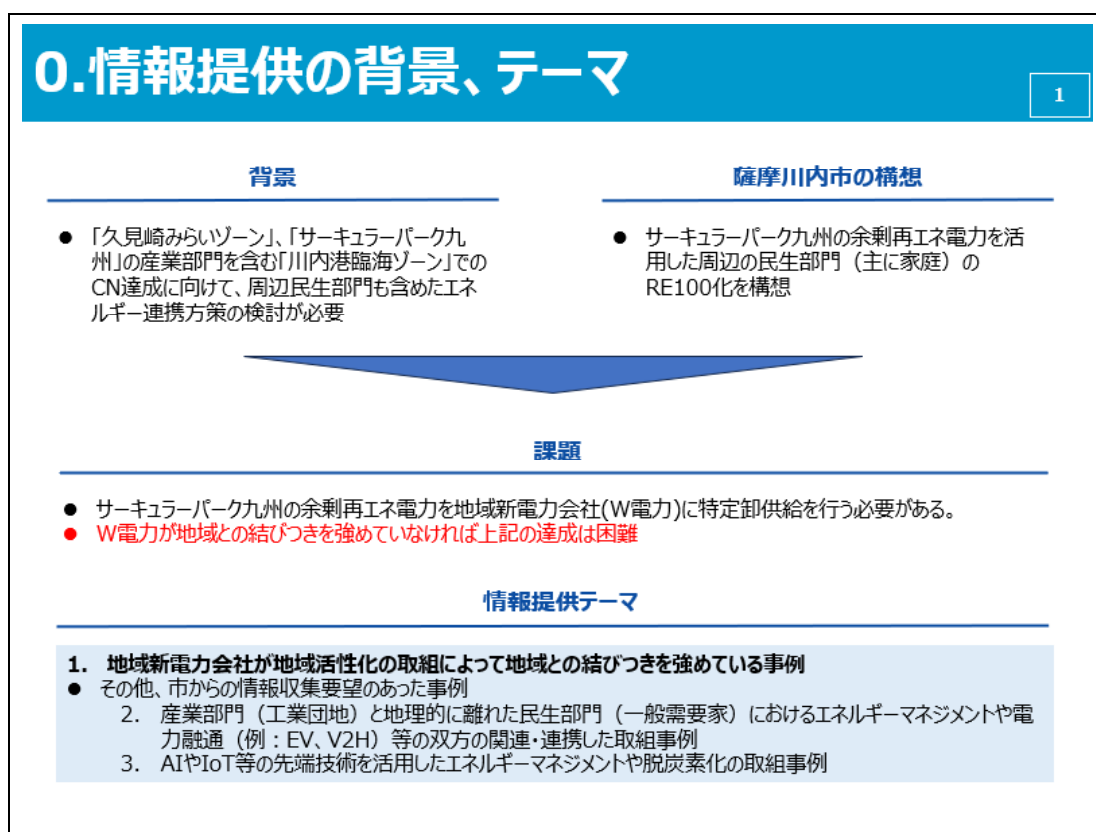


宅配サービスをするEV車

出典) 日産自動車ホームページ (<https://www.nissan-global.com/JP/INNOVATION/TECHNOLOGY/ARCHIVE/NAMIE/>)  
日産自動車ホームページ (<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/210202-01-j>)

### (3) 薩摩川内市

- 薩摩川内市では、「久見崎みらいゾーン」、「サーキュラーパーク九州」の産業部門を含む「川内港臨海ゾーン」での CN 達成に向けて、周辺民生部門も含めたエネルギー連携方策の検討が必要である。
- 産業部門の余剰再エネ電力を活用した周辺民生部門の RE100 化にあたり、地域新電力会社への特定卸供給が必要である。
- 地域新電力が地域との結びつきを強めていなければ上記の達成は困難である。
- この背景から地域新電力会社が地域活性化の取組によって地域との結びつきを強めている事例やその他市から要望のあった事例に関して情報提供を行った。
- 取組事例を 4 つに分類し、薩摩川内市の現状を踏まえて効果的な取組として、「電気使用・供給量に応じて地域通貨を付与」する取組、「電気料金を安くしたり、特産品を提供するプラン」の取組を抽出した。
- 薩摩川内市を対象に検討した実証計画のサポートについては今年度で区切りをつける。





# 1. 地域新電力会社の地域活性取組事例

2

現状 W電力における取組：切替特典、ふるさと納税

## 事例1：W電力への切替特典

- 柳山ウインドファーム風力発電所のウォーキングイベントに招待
- Re100認定ステッカープレゼント：RE100電気を利用している証明書として活用可能なステッカーをもれなく配布



## 事例2：ふるさと納税

- 薩摩川内市ふるさと納税返礼品として再エネ 100%電気を返礼
- 電力量料金に該当する電力を返礼（寄附金の3割に相当）
  - ・返礼品商品代3,000円（寄附10,000円）
  - ・返礼品商品代4,500円（寄附15,000円）
  - ・返礼品商品代9,000円（寄附30,000円）



出典「W電力への切替特典」、「W電力のふるさと納税」（株式会社ワットウェブサイト）、<https://w-den.jp/>

# 1. 地域新電力会社の地域活性取組事例

3

## 事例1 「みやまん・コイン」付与サービス（みやまスマートエネルギー(株)）[福岡県みやま市]

### 概要

- 低圧電灯契約の顧客に、毎月電気使用量に応じた地域通貨「みやまん・コイン」を付与する新しいサービスを2023年11月に開始
- 『みやまん・コイン』とは、市からの給付事業を電子コインで給付する機能、市民のさまざまなまちづくり活動への参加や市内店舗での消費にポイントを発行する機能や、現金で電子コインをチャージする機能（準備中）を兼ね備えたもの。ポイントも電子コインも市内加盟店でのみ利用できる新たな地域通貨
- 0.15コイン/kWhで付与。（1コイン=1円で使用可能）

### 地域との結びつきを強めるポイント

- 電気料金による地域内循環を見える化し、地域のお店に広げることでエンカール消費を促し、持続可能な地域の経済活動に寄与

みやまスマートエネルギー(株) × みやま市の地域通貨

**みやまんでんき × みやまん・コイン**

対象者	低圧電灯をご契約の全てのお客様（公共を除く） <small>※複数世帯の契約がある方は、代表1世帯のみになります。</small>
コイン算定	1ヶ月の電気使用量×付与レート=コイン付与額（小数点以下切り捨て）
付与レート	0.15 コイン / kWh <small>※1コイン=1円でご利用いただけます。</small>
コイン算定	毎月、専用アプリを通してコイン付与 <small>※コインの付与される額は、メーターが異なります。</small>



出典「「みやまん・コイン」付与サービス」（みやまスマートエネルギー(株)ウェブサイト）、<https://miyama-se.com/coin>

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

4

## 事例2 余剰電力の寄付に伴い地域通貨を付与（ふかやeパワー株式会社）【埼玉県深谷市】

### 概要

- 家庭で発電した太陽光発電の余剰電力を直接寄付することで、電気を深谷市の公共施設で使用
  - 電力寄付に際して、1kWhあたり9.0negi※を付与
- ※negi（ネギー）は、深谷市内700店舗以上で使える地域通貨（1negi=1円）

### 地域との結びつきを強めるポイント

- エネルギーの地産地消を進め、資金循環等による地域経済の活性化
- 地域通貨「negi（ネギー）」を年4回付与  
1月進呈分：10月～12月検針分  
4月進呈分：1月～3月検針分  
7月進呈分：4月～6月検針分  
10月進呈分：7月～9月検針分



出典) ふかやeパワー株式会社ホームページ (<https://www.fukaya-ep.co.jp/page064.php>)  
えねちよ（ふるさとエネルギーチョイス）ホームページ (<https://www.energy-choice.jp/application/city/detail?localPowerId=12>)

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

5

## 事例3 卒FITの買取料金の一部を市の学校教育振興基金へ寄付（株式会社浜松新電力）【静岡県浜松市】

### 概要

- 令和5年7月、「卒FIT太陽光発電を活用した地域貢献プラン」として、卒FITの買取料金の一部である212,890円を浜松市学校教育振興基金へ寄付
- ※卒FIT：FIT（固定価格買取制度）で約束された売電期間が終了した電力

### 地域との結びつきを強めるポイント

- 「浜松市学校教育振興基金」に積み立て、市内の学校教育の振興のために有効活用（令和3年に次いで2回目）



出典) 株式会社浜松新電力ホームページ (<https://www.hamamatsu-e.co.jp/about/csr/>)  
浜松市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/154157/2004.pdf>)

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

6

## 事例4 電力事業の収益の一部を銚子市へ寄付（銚子電力株式会社）[千葉県銚子市]

### 概要

- 銚子電力の電力事業を通じて得られた**収益の一部を地域貢献事業として市民サービスやまちづくりへ還元**するため、銚子市へ500,000円及び物品の寄付を実施。
- 寄付金は銚子市再生可能エネルギー活用推進基金へ拠出され、積み立てられる

### 地域との結びつきを強めるポイント

- 同基金は**銚子市における脱炭素社会の実現に向けた取組に使用**
- 寄附された物品は、防災時に役立つLED充電式投光器6個と充電式ランタン8個
- 銚子市への寄付は今回で3回目となる



寄付金贈呈の様子



投光器・ランタン贈呈の様子

出典) 銚子電力株式会社ホームページ (<https://choshi-denryoku.co.jp/news/2023/05/18/1333/>)

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

7

## 事例5 事業収益の一部を市の未来につながる取組へ使用：ひおき未来基金（ひおき地域エネルギー株式会社）[鹿児島県日置市]

### 概要

- 事業で得られた**収益の一部を「ひおき未来基金」として積み立て、日置市の未来につながる取組に使用**

### 地域との結びつきを強めるポイント

- **地域経済への貢献**
  - 日置市の赤ちゃんが生まれた家庭に対して**新生児用品を配布する事業（100万円）、関係人口拡大事業※（100万円）に使用**
- ※関係人口拡大のためにポータルサイト「ひおきと」を通じて日置市に関心のある方の登録制度、情報マガジン、お試し住宅を提供する事業



出典) ひおき地域エネルギー株式会社ホームページ ([https://www.hiokienergy.jp/selling\\_electricity/](https://www.hiokienergy.jp/selling_electricity/))



# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

8

## 事例6 子育て世帯の基本料金をゼロにするプラン「すくすくプラン」(ひおき地域エネルギー株式会社) [鹿児島県日置市]

### 概要

- ひおき未来基金からマタニティボックス配布事業への寄付を記念し、子育て支援プラン「すくすくプラン」を開始
- 日置市在住で6歳以下の子どもがおり、かつアンペア契約している家庭を対象とし、2年間の基本料金をゼロとする
- 40アンペア契約で月間300kWhの使用量の場合、切り替えにより、年間約15,360円(月平均約1,280円)節約

**対象** 日置市在住で6歳以下のお子様がいるご家庭なおかつアンペア契約しているお客様

- 解約料・違約金なし! アパート・マンションでも切替可。
- 1家庭につき1回・2年間のみ適用
- オール電化(kVAまたはkW)で契約しているお客様は対象外。

※2年後の基本料金は20A:540円、30A:810円、40A:1,080円、50A:1,350円、60A:1,620円

例えば、40アンペア契約で月間300kWhの使用量なら・・・

切り替えるだけで、年間約15,360円(月平均約1,280円)お得!

### 地域との結びつきを強めるポイント

- **地域の子育て世帯を支援**

お得な電気のご案内  
日置市の未来・子育て支援  
すくすくプラン

基本料金	
容量	Q社
20A	594円
30A	891円
40A	1,188円
50A	1,485円
60A	1,782円

→ **0円**

従量料金	
kWh	Q社
~120	17.44円
121~300	23.06円
301~	26.06円

2年間、基本料金ゼロ!

出典) ひおき地域エネルギー株式会社ホームページ ([https://www.hiokienergy.jp/selling\\_electricity/](https://www.hiokienergy.jp/selling_electricity/))

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

9

## 事例7 高齢者向け夏の電気料金割安プラン「いきいき応援プラン」(株式会社いちき串木野電力) [鹿児島県いちき串木野市]

### 概要

- **夏の熱中症対策として、いちき串木野市は高齢者向けに夏の電気料金の割安プラン「いきいき応援プラン」を開始**
- いちき串木野市居住者限定で契約時、満70歳以上の高齢者がいる世帯が対象
- 夏場7・8・9月の使用電力料金が5%割引
- 敬老の日(9月)にはお祝い金として500円割引

地域の高齢者の皆さまが  
元気に生活していただけるように

夏場の電気料金が割安!  
さらに敬老の日には割引プレゼント!



### 地域との結びつきを強めるポイント

- **地域の高齢者の生活を支援**

●従量電灯Bプラン

基本料金	容量	契約	(円)
	10A	1契約	316.24
	15A	1契約	474.36
	20A	1契約	632.48
	30A	1契約	903.72
	40A	1契約	1,204.96
	50A	1契約	1,506.20
	60A	1契約	1,718.44
電気料金	最初の120kwhまで	1kwh	18.17
	120kwhをこえ300kwhまで	1kwh	23.22
	300kwhをこえる分	1kwh	25.55

出典) 株式会社いちき串木野電力 (<http://www.ik-epco.co.jp/individual.html#ikiiki>)



# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

10

## 事例8 市内の特産品が届く電気プランの創設（銚子電力株式会社）[千葉県銚子市]

### 概要

- 銚子市も参画している地域密着型の電力会社「銚子電力」が、季節ごとに銚子の特産品が届ける電力プランを設定



### 地域との結びつきを強めるポイント

- 地域の特産品を提供**
- 銚子電力がセレクトした海鮮から野菜、菓子類など多岐にわたる商品を、**季節ごとに年4回程度送付**



出典) 銚子電力株式会社ホームページ (<https://choshi-denryoku.co.jp/choshi-e-denki/furusato.html>)

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

11

## 事例9 市内のアスリートを応援できる電気プランの創設（銚子電力株式会社）[千葉県銚子市]

### 概要

- 銚子出身のリオデジャネイロ・オリンピック トライアスロン日本代表の加藤友里恵氏と共同で銚子のアスリートを応援できる電気プラン「銚子アスリートプラン」の提供を開始。
- 契約者の電気料金の一部がアスリートの活動費や物品となって還元され、支援を受ける銚子アスリートからは活動報告やイベントへの招待、特別メッセージが定期的に発信



### 地域との結びつきを強めるポイント

- 地域出身のアスリートを応援**
- サービス開始時は、日本選手権100mバタフライ3位の飯塚選手、兄弟でインターハイ出場を果たした砂村明彦・光彦両選手と将来性豊かな競泳選手3名が登録中（今後も増える予定）



出典) 銚子電力株式会社ホームページ (<https://choshi-denryoku.co.jp/news/2021/10/06/1071/>)

# 1.地域新電力会社の地域活性取組事例

12

まとめ **太字：効果的な事例分類**

取組事例分類	事例	地域との結びつきを強めるポイント	W電力で実施する際の課題	薩摩川内市の現状
①電気使用・供給量に応じて地域通貨を付与	1、2	電気の使用・供給に応じて地域内で使用可能な通貨を付与するため、 <b>地域経済活性化</b> につながる	● 既に地域通貨の発行がされ、使用可能店舗がある程度あり、地域に根付いていないければ利用価値が少ない。	→「 <b>つんpay</b> 」を導入済み。 ・子育て応援券 ・産後ケア応援券 ・旅トク納税商品券 使用可能店舗：計106店舗
②買取料金や収益の一部を地域基金等へ寄付	3、4、5	寄付金を赤ちゃんが生まれた家庭や教育の資金に活用するため、住みやすい街づくりに貢献	● 財源の確保 ● 効果的な寄付先の選定	—
③電気料金を安くしたり、特産品を提供するプラン	6、7、8	料金低下や地域の特産品を定期配達する契約プランにより、 <b>地域の小児や高齢者世帯などを支援</b>	● 財源・安価な電気の確保 ● サービス品調達先の確保  ● 効果的なサービスの提供先の選定	→ <b>柳山ウインドファームの発電量が多い時期・時間帯には安価で電気を供給できる可能性あり。</b>  → <b>天辰スマートタウンなど環境意識の高い提供先あり</b>
④地域のアスリートを応援するプラン	9	プラン契約者の電気使用料金の1%を国内外で活躍する地域にゆかりのあるアスリートに還元	● 地域にゆかりのある著名人等の存在	—

<取組実施に向けた必要事項>

分類①:「**つんpay**」使用可能店舗、対象の拡大  
→「**つんpay**」の使用者が増やすことで、取組効果の増大が期待される。

分類③-1:効果的なサービス提供先として想定する需要家の実態調査  
→アンケート調査やヒアリング調査により需要家の抱える課題を把握  
→安価で電気を供給できる時期・時間帯と需要家の課題解決可能なサービスを整合

分類③-2:想定する需要家へのサービスPR・説明会実施

# 2.産業部門と民生部門での電力融通事例

13

事例 **Fグリッド（トヨタ自動車株式会社）**

概要

効果

- 【通常時】有限責任事業組合が保有する自家発電設備（都市ガスを活用）から作ったエネルギー（電力・熱）と、電力会社より購入した電力の制御・最適化を図り、**グリッド内各工場（産業部門）へ自営線で効率的にエネルギー供給**
- 【非常時】F-グリッド保有の自家発電設備で発電した余剰電力を東北電力が購入し、東北電力が、**高圧配電線により防災拠点となる大衡村役場など（民生部門）に電力を供給**

- F-グリッド構想導入前と比べて**省エネで約20%、環境性（省CO2）で約23%の削減を実現。**
- 各工場におけるエネルギー調達コストの低減に寄与し、経済性も向上。



出典) トヨタ自動車株式会社ホームページ (<https://global.toyota/jp/detail/10001636>)